

シリーズ⑥ 学力向上への道

わが校の学力向上の取り組み



名和小学校

学習規律の定着

学力向上のためには、子どもたちが学ぶ学級が「全ての子どもにとつて安心して力を発揮できる場」になつていなければなりません。そのためには、学習規律の確実な定着を図ることが必要です。

大切にしている学習規律

■授業の始め方・終わり方

- ・ 日直が号令をかけ、きちんと全員が立つて声を出して始める（終わる）

■話の聞き方

- ・ 話す人を見て 反応しながら

■発言の仕方

- ・ 「はい」と返事 みんなに聞こえる声で

■教室移動

- ・ 静かに並んで移動する

また、本校では、分かる子どもだけで進んでいく授業から脱却し、「分からない」が安心して言える授業づくりを

大切にしています。

「できたこと」から発表するのではなく、「困っていること」から発表する、学級のみなが解けるようになるためのペアやグループでの学び合



▲授業研究会に向けた事前の話し合い

いの場を設定する、そんな授業づくりを名和小学校では目指しています。

学び続ける教師「教育は人なり」の言葉どおり、教育の成否は、教員の指導力によるところが極めて大きいと言えます。教員の資質・能力の向上に向け、本校では算数科を中心に、「他の教員の授業を参観すること」「自ら授業を公開すること」「日々、授業づくりについて語り合うこと」の3点を大切にしながら、授業研究会や授業公開に取り組んでいます。教員一人一人が授業研究会で学んだことをもとに、今後自ら取り組むべきことを明確にし、各自が作成している授業改善のためのスケジュールシートに加筆・修正を加え、日々の授

業改善に結びつけています。

また、各種学力調査等の結果を分析し、子どもががたつきやすい問題の傾向やつまづきの改善に向けた「共通実践事項」を共有して授業改善に取り組んでいます。

図書館教育の充実

読書は、多くの語彙や多様な表現を通して様々な世界に触れ、これを擬似的に体験したり知識を獲得したりして、新たなものの見方や考え方に会おうことを可能にします。近年では、子どもの学力差の背景に語彙の量と質の違いがあるとの指摘もなされており、小学生という時期に、読書は極めて重要であると言えます。朝読書や地域のボランティアの方々による

読み聞かせ、読書週間の取り組み等により、読書活動の充実を図っています。

また、図書館

には、「調べる力」を育てるといふ役割もあります。担任と司書教諭、学校図書館司書が連携を図り、



▲司書教諭による調べ学習の指導



▲ボランティアによる読み聞かせ

「課題設定」「情報収集」「整理・分析」「まとめ・表現」といった力の育成に取り組んでいます。

基礎学力定着のために

基礎的・基本的な知識や技能を身に付けるために、次のような取り組みを行っています。

①朝学習の実施

基礎基本を身に付ける時間として朝の15分間、計算・漢字練習、ことわざ・四字熟語の学習、音読練習等の学習を行っています。

②月例テストの実施

基礎基本の定着を図るため、漢字・計算等のテストを毎月行っています。事前に範囲を知らせ、計画的に学ぶ態度を育てています。

③家庭学習の充実

基礎基本の定着と自ら学ぶ習慣づくりのため、各学年の発達段階に応じた家庭学習の充実に取り組んでいます。家庭での称賛・励ましは、子どもの意欲を高めます。できるようになったこと、努力したことをしっかり評価していただければと思います。

また、今後は放課後の補充学習にも取り組んでいく予定にしておりますので、ご理解とご協力をお願いします。